船員奨学金のしおり

公益財団法人 海技教育財団
Maritime Academy Foundation

貸与型奨学金（無利子）

● 一般奨学金（通常額、半額）、修学維持困難、自宅外（海技教育機構に属する学校のみ）を選ぶことができます。
● 殉職船員の子弟の方は、返還額が半額となります。（申込時に申告）

◆ 大学

東京海洋大学

海洋工学部：海事システム工学科、海洋電子機械工学科及び乗船実習科

神戸大学

海洋政策科学部：海技ライセンスコース及び乗船実習科
海事科学部：グローバル輸送科学科航海マネージメントコース、マリンエンジニアリング学科機関マネージメントコース及び乗船実習科

区分		貸与月額	貸与総額	返還月額	返還期間
一般奨学金	通常額	50,000円	2,700,000円	18,000円	12年6ヶ月
	半額	25,000円	1,350,000円	10,000円	11年3ヶ月
修学維持困難		60,000円	3,240,000円	22,000円	12年3ヶ月

◆ 高等専門学校

富山高等専門学校　鳥羽商船高等専門学校　弓削商船高等専門学校
広島商船高等専門学校　大島商船高等専門学校　商船学科及び専攻科

区分				貸与月額	貸与総額	返還月額	返還期間
商船学科	一般奨学金	通常額	1～3学年	26,000円	2,136,000円	13,000円	13年8ヶ月
			4学年以上	40,000円			
		半額	1～3学年	13,000円	1,068,000円	7,000円	12年8ヶ月
			4学年以上	20,000円			
	修学維持困難		1～3学年	36,000円	2,796,000円	17,000円	13年8ヶ月
			4学年以上	50,000円			
専攻科	一般奨学金	通常額		50,000円	1,200,000円	18,000円	5年6ヶ月
		半額		25,000円	600,000円	10,000円	5年
	修学維持困難			60,000円	1,440,000円	22,000円	5年5ヶ月

◆海技大学校

海技大学校

海技士教育科 海技専攻課程 海上技術コース（航海専修、機関専修）

区分		貸与月額	貸与総額	返還月額	返還期間
一般奨学金	通常額	40,000円	960,000円	15,000円	5年4ヶ月
	半額	20,000円	480,000円	7,000円	5年8ヶ月
修学維持困難		50,000円	1,200,000円	19,000円	5年3ヶ月
自宅外		45,000円	1,080,000円	17,000円	5年3ヶ月
自宅外+修学維持困難		55,000円	1,320,000円	21,000円	5年2ヶ月

◆海上技術短期大学校

国立小樽海上技術短期大学校　国立宮古海上技術短期大学校
国立清水海上技術短期大学校　国立波方海上技術短期大学校

海技士教育科 海技課程 専修科及び航海専科

区分		貸与月額	貸与総額	返還月額	返還期間
一般奨学金	通常額	30,000円	720,000円	11,000円	5年5ヶ月
	半額	15,000円	360,000円	6,000円	5年
修学維持困難		40,000円	960,000円	15,000円	5年4ヶ月
自宅外		35,000円	840,000円	13,000円	5年4ヶ月
自宅外+修学維持困難		45,000円	1,080,000円	17,000円	5年3ヶ月

◆海上技術学校

国立館山海上技術学校　国立唐津海上技術学校　国立口之津海上技術学校

海技士教育科 海技課程 本科及び乗船実習科

区分		貸与月額	貸与総額	返還月額	返還期間
一般奨学金	通常額	25,000円	1,050,000円	10,000円	8年9ヶ月
	半額	12,000円	504,000円	5,000円	8年4ヶ月
修学維持困難		35,000円	1,470,000円	14,000円	8年9ヶ月
自宅外		30,000円	1,260,000円	12,000円	8年9ヶ月
自宅外+修学維持困難		40,000円	1,680,000円	16,000円	8年9ヶ月

貸与型奨学金の申込みから完済までの流れ

申込み

入学後に学校へ申込みを行います。

提出書類
- 奨学生願書
- 学資負担者の収入を証明する書類
  （所得証明書、源泉徴収票、確定申告書（控）、納税証明書（その２）、非課税証明書、課税証明書のいずれか一つ。コピー可）

⚠ 学資負担者は、原則として学費を主に負担する人。
学生自身が社会人の経験があるなど独立生計の場合には、学生自身を学資負担者とします。

選考

奨学生選考委員会において奨学生が選考されます。

採用の通知

採用された方には、海技教育財団から採用通知書が発行されます。

書類の提出

指定された期日までに、次の書類を学校に提出します。

提出書類
- 誓約書
- 奨学金振込依頼書
- 連帯保証人及び保証人の印鑑証明書
- 同意書（奨学生が未成年の場合のみ）

奨学金の貸与

指定された口座に奨学金が振り込まれます。

卒業または乗船実習科修了まで貸与されます。

卒業時

卒業時に借用証書を提出して頂きます。連帯保証人と保証人の自署による署名、捺印及び印鑑証明書が必要です。

奨学金の返還

卒業または、乗船実習科修了の半年後から返還開始となります。卒業後、返還開始通知が送られて来るので、返還開始通知をご覧の上、返還手続きを行ってください。

奨学金の完済

完済しますと、完済通知書が送られてきます。

⚠
- ○ ２学年以上の方も申込みが可能です。秋に若干名の奨学生の募集があります。
- ○ 家計の急変や災害等による応急採用は随時受け付けています。
- ○ 中途退学したときは、その時点で奨学金を全額返済していただきます。
- ○ 奨学金の返還金は後輩達への貸付の原資として運用されますので、責任をもって返還をお願いします。

学資負担者の年収の上限について

学資負担者の年収が上限額を超えた場合、奨学金を受けることができません。

一般奨学金

学資負担者の年収の上限額は、下記の１.家族数による年収の限度額に、２.就学者数による加算額を加えた金額です。

１.家族数による年収の限度額

家族数	1人	2人	3人	4人	5人	6人
限度額	570万円	600万円	630万円	660万円	690万円	720万円

7人以上の場合はお問い合わせください。

家族数は、本人を含む同居の親族のみです。ただし、単身赴任や学生が同居していない場合等は、家族数に含め、同居の親族であっても、生計を別にしている場合は家族数には含みません。

２.就学者数による加算額

就学校	大学	短大	専門学校（高卒）	高専	高校	専門学校（中卒）	中学	小学
１人につき	260万円	180万円	180万円	180万円	130万円	130万円	80万円	60万円

（注）就学者数には、本人を含みます。

計算例１

◆ 6人家族（就学者3人）の場合

家族数	6人	720万円
（加算額）	本人（高校）	130万円
	兄（大学）	260万円
	妹（中学）	80万円
	合計（上限額）	1,190万円

計算例２

◆ 学資負担者が本人の場合

家族数	1人	570万円
（加算額）	本人（短大）	180万円
	合計（上限額）	750万円

修学維持困難

年収が下表の金額以下の場合は、修学維持困難に該当します。

家族数	１人	2人	3人	4人	5人	6人
年収	130万円	196万円	228万円	248万円	267万円	281万円

7人以上の場合はお問い合わせください。

連帯保証人と保証人について

誓約書の提出にあたり連帯保証人と保証人を決めて頂きます。
採用後、慌てないように事前に決めておいてください。
（当財団の奨学金には、機関保証の制度がありません。）

● 連帯保証人は、奨学金を借りたあなたと連帯して返還する責任があります。
原則として父母、それ以外の場合には、4親等以内の親族にしてください。

◎連帯保証人になれない方
未成年者、学生の方、あなたの配偶者、債務整理中の方、70歳以上の方

● 保証人は、あなたや連帯保証人が返還をしなかった時にあなたに代わって、返還をする人です。

◎保証人になれない方
あなた及び連帯保証人と同一生計の方、未成年者、学生の方、あなたの配偶者、債務整理中の方、70歳以上の方、当財団の奨学金を現在返還中の方

給付型奨学金 （返済不要）

国立小樽海上技術短期大学校　国立宮古海上技術短期大学校
国立清水海上技術短期大学校　国立波方海上技術短期大学校

海上技術短期大学校の１年生で、経済的な理由（住民税非課税世帯とそれに準ずる世帯）で修学が困難、かつ船員になるという意思が強固で、勉学意欲・人物ともに優良で健康な学生を対象としています。貸与型の奨学金と併願が可能です。
１学年に在籍中の１年間のみの支給となります。詳しくは学校にお尋ねください。

支給月額	給付期間	給付総額
11,000円	12ヶ月	132,000円

願書記入例

・間違って記入した場合は、二重線を引き、余白に書き直してください。
・字は大きくはっきりと楷書でお書きください。

様式１（第１条関係）

奨　学　生　願　書

公益財団法人　海技教育財団会長　殿

学校長　　印

ふりがな 氏名	かいうん　まなぶ **海運　学**	生年月日 **2000** 年 **1** 月 **10** 日	希望事項：一般・特(二)・特(三) 貸与月額　　円 貸与開始　　年　月
在学学校	**海技大学校**　**海技士教育**　科	学年 **1学年**	
本籍	**東京都千代田区○△町2-6**		
実家所在地	**東京都千代田区○△町2-6　ハイツ海201号室**	電話番号 **03-0000-0000**	
奨学金を希望する理由（任意）	**父が転職して、収入が減り、家計が苦しいため**		
当財団の奨学生であった者	学校名 **国立宮古海上技術短期大学校**	奨学生記号番号 **48-0000**	

連帯保証人	ふりがな 氏　名 **かいうん　こうへい** **海運　航平**	本人との続柄 **父**	生年月日 **1976** 年 **11** 月 **5** 日
	本籍 **東京都千代田区○△町2-6**		
	現住所 **東京都千代田区○△町2-6　ハイツ海201号室**		
	電話番号 **03-0000-0000**	職業 **会社員**	年収 **400万円**
学資負担者（連帯保証人以外の場合）	ふりがな 氏　名	本人との続柄	生年月日 年　月　日
	本籍		
	現住所		
	電話番号	職業	年収

家族構成	本人との続柄と就学状況 **祖母、祖父、父、母** **弟　高校生　1人、　妹　中学生　1人、　弟　未就学児　1人** 本人含め、計 **8** 人

省略せず、マンション名、部屋番号まで正確に書いてください。

奨学金を希望する理由がある方は、お書きください。

前の学校で当財団の奨学金を借りていた方のみ記入してください。

連帯保証人は、原則父母。それ以外の場合は、４親等以内の親族で、70歳未満の方にしてください。

学資負担者は、学費を主に負担する人。
学生自身が社会人の経験があり、独立生計の場合には、学生自身を学資負担者とします。
連帯保証人と異なる場合のみ記入してください。

同一生計の家族のみを記入してください。
同居の家族であっても別生計の場合には記入しないでください。
（例）同居の兄が別生計の場合は、記入しない。同居ではないが、単身赴任の父は記入する。

・奨学生願書裏面の「個人情報の取扱いに関する同意書」の内容を必ず確認し、ご自身でご署名ください。
・奨学維持困難、自宅外の奨学金は別途「奨学金増額願書」の提出が必要です。

奨学生願書（個人情報の取扱いに関する同意書）、奨学金増額願書は、ホームページからダウンロードできます。

詳しくは、各学校又は海技教育財団にお問い合わせください。

海技教育財団の奨学金制度は、海運再建のための船員政策の一環として、1950年に海運関係諸団体の全面的な協力によって創設されて以来、70年以上の歴史を有しています。船員を志望する皆様方の先輩のべ2万7千人が当財団の奨学金の貸与を受けて船員への道を歩んできました。

公益財団法人 海技教育財団

TEL:　03-3265-6526
E-mail:　shogaku@macf.jp
https://macf.jp/scholarship/

2022/03 版